

授業科目 評価学演習 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
星 孝、地神 裕史、押木 利英子		開講時期	後期	必修選択	必修
古沢 アドリアネ 明美、菅原 和広		単位数	2	時間数	60 (中枢神経系: 20)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標: GI0】					
中枢神経疾患の全体像をよりの確に捉えるために、必要な検査・評価方法を修得する。また基本事例を使用し、評価項目を検討し選択できる。					
【学習目標・行動目標: SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. クループワークにおいて積極的に取り組める 2. 評価を行うためのオリエンテーションが適切に行える 3. 急性期ベットサイドにおける検査を行える 4. 筋トーマス検査の意義を理解し、実施できる 5. 片麻痺運動機能検査の意義を理解し、実施できる 6. 協調性検査の意義を理解し、実施できる 7. バランス検査の意義を理解し、実施できる 8. 姿勢評価の意義を理解し、実施できる 9. 動作分析（基本動作）の意義を理解し、実施できる 10. 動作分析（応用動作・歩行動作）の意義を理解し、実施できる 11. 疾患の評価に対する討議およびグループ学習をもってまとめをおこない、演習実技試験によって評価を行う 					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	座位耐性訓練に必要な基本評価		1～3	演習 担当: 星、地神	
2	急性期ベットサイドに必要な評価		1、2、3	演習 担当: 星、地神	
3	筋トーマス検査		1、2、4	演習 担当: 星、地神	
4	片麻痺運動機能検査		1、2、5	演習 担当: 星、地神	
5	協調性検査		1、2、6	演習 担当: 星、地神	
6	姿勢の評価		1、2、7、8	演習 担当: 星、地神	
7	動作分析（基本動作）		1、2、7、8、9	演習 担当: 星、地神	
8	動作分析（応用動作・歩行）		12、7、8、9	演習 担当: 星、地神	
9	中枢神経疾患の評価に対する討議およびグループ学習（1）		1～11	演習、グループ討議 担当: 星、地神	
10	中枢神経疾患の評価に対する討議およびグループ学習（2）		1～11	演習、グループ討議 担当: 星、地神	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		診察と手技が見える 1 第2版 理学療法評価学 テキスト	古谷 伸之 細田 多穂	メディックメディア 南江堂	2010・6,000円+税 2010・5,700円+税
参考書		ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭 他	南山堂	2004・7,560円
その他の資料		6,300円			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、出席態度、期末試験の総合評価とする					